

令和3年度 事業報告書

認定特定非営利活動法人
日本カンボジア文化産業振興会

I 事業期間

2021年4月1日から2022年3月31日まで

II 事業の成果

コロナ禍もあり、カンボジアはロックダウン、都市間移動禁止等で事業を実施する状況が大変困難な一年となりました。ナチュラルプロジェクトは本格的にジェネラルマネージャーを雇用し、事業が革新的に実行できる体制を作り上げました。人材教育支援として、1年間実施を行いました。魚の販売をはじめとして、現地政府から借り上げている土地の整備、魚の育成を重点的に行いました。

中古パソコン支援に関しては政府側の要望もあり、プレヴィヒア博物館職員に対して寄付しました。当法人の中古パソコン支援により、プレアヴィヒアオーソリティーの政府職員からより一層支援の希望を頂いています。政府からは支給がないため、すべて自費による購入のみは現在も変わっていません。

今年度はクラチエ州において農業支援をはじめました。人材教育支援および貧困解消するために雇用拡大を実施しました。

農業で雇用して人材教育を行いました。現地の行政からは日本人が関連している事業であることで、地域の雇用改善や投資支援を期待したいと強い要望がありました。

コロナ禍においても、当法人はクラチエ州、プレアヴィヒア州スラエム村において事業を行い、貧困解消や技術指導において成果をだすことができた。今後も人材教育を実施し雇用拡大が出来るように活動を推進していきたい。各州においての地域住民との交流ができ信頼関係が構築されている。

III 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
行政、産業団体、日本文化産業振興会カンボジア本部との協力、連絡連携	ナチュラルプロジェクトサポート支援事業 テラオライテックの養殖事業において、現地協力。この事業を通して、貧困支援につながる人財育成を行う。	4月1日 ～3月 31日	カンボ ジア スラエ ム村	3	3	1,611

カンボジア王国を中心とした住民の自立支援事業	農業人材育成事業 クラチエ州ソンボー地区にある102ヘクタールで、貧困支援のための雇用と日本の農業運営での人材教育支援	11月～3月 毎週土日	カンボジア スラエム村	3	7	1,304
カンボジア王国を中心とした住民の自立支援事業	縫製自立支援事業 縫製の技術を受講した人材の自立支援のためミシンを寄付	6月	カンボジア プノンペン	1	1	46
カンボジア王国を中心とした住民の自立支援事業	中古パソコン支援事業 カンボジア政府プレアヴィヒアオーソリティーへパソコン1台を寄付。	6月	カンボジア スラエム村	2	1	0

その他の事業 なし

【縫製自立支援事業】

実施期間 2022年6月
 寄付実務職員 東海林知晴
 寄付品 ミシン1台
 寄付先 技能実習プロジェクトを受講した実習生
 事業費 46,616円
 自立支援のため6月にミシンを寄付。コロナ過のためトボンクモン州の田舎に戻り、縫製で生計をたてる。



【中古パソコン寄付支援事業】

実施期間 2022年6月
 寄付実務職員 戸田武
 随行NPO職員 東海林知晴
 寄付品 ノートパソコン 1台
 寄付先 カンボジア政府プレアヴィヒアオーソリティー



政府職員が実務で使用するためのパソコン1台を寄付。
 カンボジア政府の予算では、各個人がパソコンを買えないため支援をしている。

【ナチュラプロジェクトサポート支援事業】

実施期間 2021年4月1日～2022年3月31日

事業場所 プレアヴィヒア州スラエム地区テチョウビレッジ

主体団体 テラオライテック・カンボジア

随行NPO職員 東海林知晴

現地サポートスタッフ 戸田武

事業内容 カンボジア王国プレアヴィヒア州スラエム地区テチョウビレッジでの養殖総事業

NPO事業費 1,611,538円

＜実施結果＞ 今年度は販売サポートや養殖事業全般の管理運営を行いました。ティラピアの販売が終わってから、今後の運営等についてテラオライテックカンボジアと連携しキャットフィッシュの育成を行うこと。また、収益資金により貧困支援を実施することに決定しました。カンボジア全域の情報を集約し、稚魚の育成から販売戦略に至るまで調査をしました。当初の予定からかなり魚の育成に問題があり、魚の餌を改善しました。雨季に入ったこともあり、育成に関しても遅れました。気温の問題は大きく、なるべく池の平均水温を高め設定しPHも測定して管理をしました。土壌を基本にした池であるため、予想より大きく成長することが簡単ではありませんでした。カンボジア現地政府とのミーティングもあり、来年度からは稚魚の育成や農業用地等で運営が潤滑に行われるように指導がありました。



【農業人材育成事業】

実施期間 2021年11月～3月（毎週土曜日）

事業場所 クラチエ州ソンボーエリア

農業従事者 7名

随行NPO職員 東海林知晴

NPO事業費 1,304,708円

＜実施結果＞

クラチエ州ソンボー地区にある102ヘクタールで、貧困支援のために農業運営での雇用と人材教育支援をはじめました。中古トラクターを購入し、農地ではカシューナッツなどを育成しました。次年度より稲作、バナナ、キャッサバなどをエリアごとにかけて植生させます。コロナ禍で職を失った農民を雇用し、事業を継続し続けるように運営しています。

